第53期　第2四半期株主通信
2019年4月1日—2019年9月30日
証券コード 6869

Be Fine!

株主の皆様とシスメックスをつなぐコミュニケーション誌

持続可能な社会へ ❸

製品・サービスを通じた医療課題解決 —新興国・開発途上国編—

…… 5ページ

ハンブルグのクリスマスマーケット（ドイツ）→ 4ページご参照

Lighting the way with diagnostics

>> 詳細な財務情報は、シスメックスのIRウェブサイトをご覧ください。 www.sysmex.co.jp/ir/

国内・海外ともに好調に推移し増収となるも、円高の影響などにより減益となりました。

代表取締役会長兼社長 CEO

家次 恒

いえつぐ ひさし

【出身地】大阪【略 歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。その後、東亞医用電子株式会社（現シスメックス株式会社）に入社。1996年に代表取締役社長、2013年に現職に就任。【趣 味】読書、スポーツ観戦【信 条】「意あらば通ず」

ポイント1 国内・海外ともにヘマトロジー分野*を中心に伸長し、増収を達成

ポイント2 四半期利益*は、為替差損の影響や税負担率の増加などにより減益

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社グループの2020年3月期 第2四半期の業績は、円高の影響を受けるも、国内・海外ともにヘマトロジー分野を中心に伸長し、円貨ベース・現地通貨ベースともに増収を達成しました。一方、増収効果により粗利益が増加したものの、円高の影響や研究開発費の増加などにより、営業利益は減益となりました。また、四半期利益も為替差損の影響や税負担率の増加などにより減益となりました。売上高は前年同期比5.0%増、営業利益は同2.5%減、四半期利益は同9.7%減となりました。なお、前年同期の為替レートを適用した場合、売上高は前年同期比9.6%増、営業利益は同4.7%増となります。

国内は、ヘマトロジー分野や血液凝固検査分野における機器売上の伸長や、システム導入案件が好調に推移したことなどにより、増収となりました。海外は、ヘマトロジー分野、尿検査分野、免疫検査分野を中心に試薬の売上が伸長し、増収となりました。これらの結果、当社グループの海外売上高比率は84.1%となりました。

なお、2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、期初想定に比べて為替レートが円高に推移している状況を踏まえ、期初設定の想定為替レートを見直し、売上高は前年同期比5.6%増、営業利益は同2.1%減、当期利益*は同6.6%減を見込んでいます。

配当につきましては、年初予想の通り、年間で72円（中間36円・期末36円）を予定しております。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■2020年3月期通期業績予想　（億円）

	売上高	営業利益	当期利益
2019年11月発表	3,100	600	385
2019年5月発表	3,200	640	420
【参考】2019年3月期実績	2,935	612	412

■想定為替レート　（円）

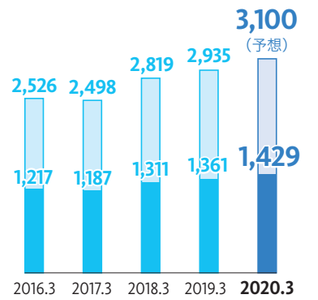
1USドル	1ユーロ	1元
108.3	120.7	15.5
110.0	125.0	16.5
110.9	128.4	16.5

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

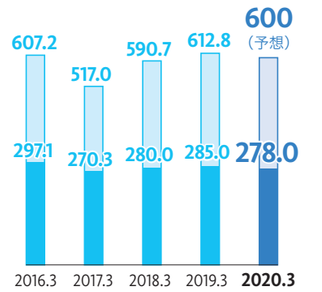
*ヘマトロジー分野：血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

□ 通期　■ 第2四半期

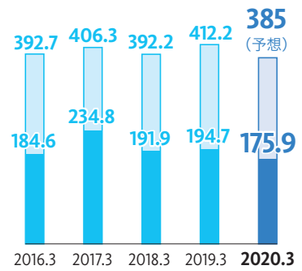
売上高　前年同期比 5.0%増



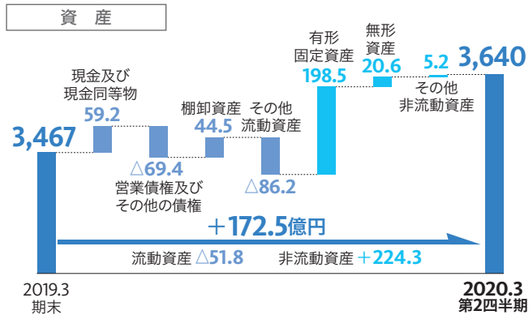
営業利益　前年同期比 2.5%減

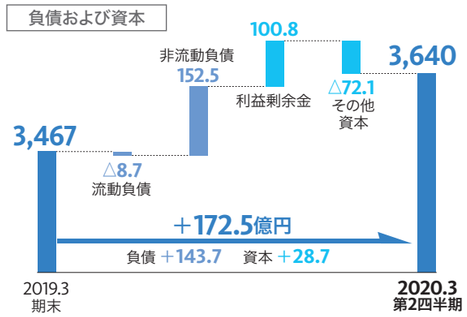


四半期（当期）利益*　前年同期比 9.7%減



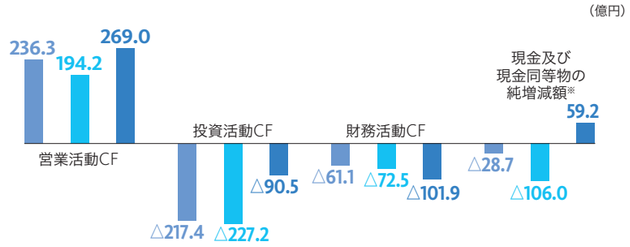
連結財政状態計算書の増減要因





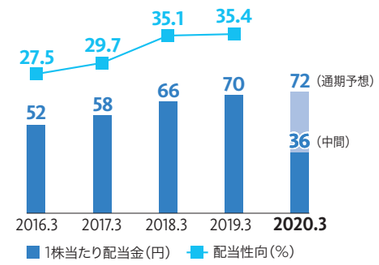
※IFRS16適用影響：有形固定資産、流動負債、非流動負債

キャッシュ・フローの推移



※現金及び現金同等物に係る換算差額も含まれております。
※IFRS16適用影響：2020.3 第2四半期累計の営業活動CF、財務活動CF

1株当たり配当金／配当性向



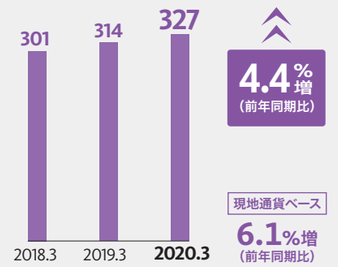
利益配分（配当）に関する考え方について

当社は、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。

*四半期（当期）利益：親会社の所有者に帰属する四半期（当期）利益。

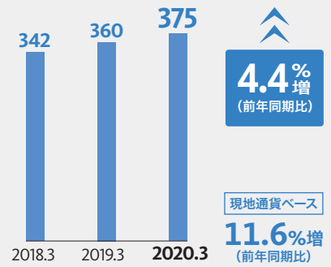
■地域別売上高 （億円） ※第52期 期末株主通信までは所在地別にて掲載していましたが、今期より地域別での掲載へ変更しております。

米 州



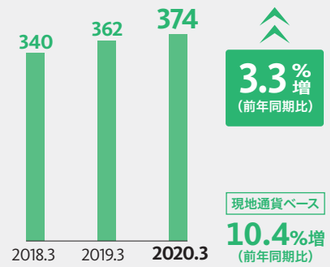
米国の血液凝固検査分野の売上が減少するも、米国やカナダでヘマトロジー分野*の売上が伸長し、増収

EMEA*



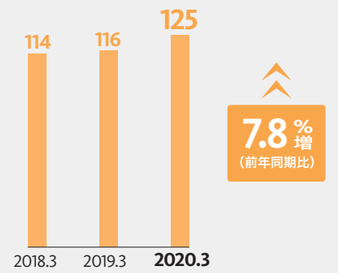
中東、東欧などの新興国でヘマトロジー分野の売上が伸長したほか、UNシリーズの販売が好調な尿検査分野などが伸長し、増収

中 国



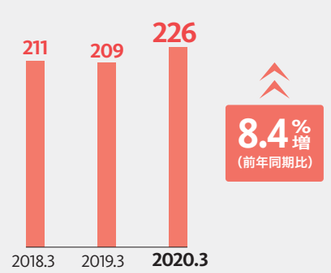
ヘマトロジー分野や尿検査分野、免疫検査分野が試薬の売上を中心に伸長し、増収

アジア・パシフィック



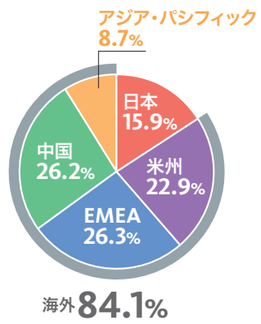
インドにおけるヘマトロジー分野の伸長や、デング熱の流行に伴い東南アジアでヘマトロジー分野の試薬売上が伸長したことなどにより、増収

日 本



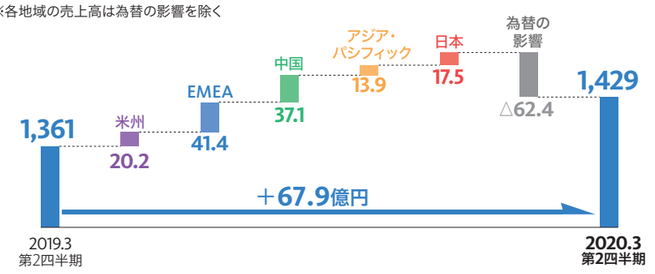
ヘマトロジー分野、血液凝固検査分野における機器売上の伸長や、システム導入案件が好調に推移したことなどにより、増収

■地域別売上高構成比

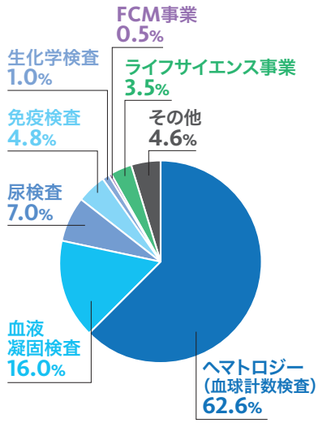


■地域別売上高の増減 （億円）

※各地域の売上高は為替の影響を除く



■事業別売上高構成比



■為替レート （円）（期中平均）

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期
1USドル	111.1	110.3	**108.6**
1ユーロ	126.3	129.9	**121.4**
1中国元	16.4	16.8	**15.7**

*EMEA：欧州、中東、アフリカ地域。

*ヘマトロジー分野：血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

グローバルレポート

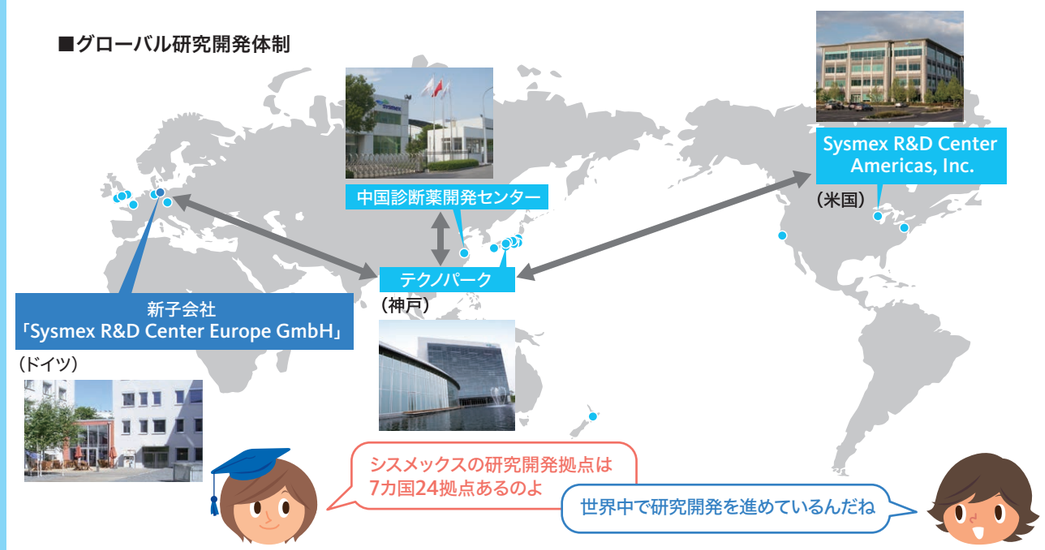
イノベーションの早期創出に向け グローバル研究開発体制を強化

医療課題の多様化が進むなか、ヘルスケア企業として競争力を向上するためには、各国の医療ニーズや技術トレンドをいち早く捉え、研究開発に反映させることが重要です。シスメックスはこれまで海外に研究開発拠点を設け、研究開発機能のグローバル化を進めるとともに、国内外の医療機関・研究機関とのオープンイノベーション（共同研究開発）を推進してきました。また近年は、独自の技術やネットワークを持つ海外企業をグループに迎え入れることで、研究開発領域を拡大しています。

これら海外子会社とのシナジー（相乗効果）を発揮し、地域特性を活かした研究開発を加速するため、グローバル研究開発体制の強化の一環として、2018年10月にドイツ ハンブルグの研究開発拠点を現地法人化しました。新子会社では、欧州地域における医療ニーズや技術の探索、医療機関・研究機関とのネットワーク構築といった従来の機能に加え、積極的な現地人材の獲得や現地企業との新たな協業機会の獲得、シスメックスがグローバルに展開を目指す新技術の認知・普及活動などに取り組んでいます。さらに、国や地域が推進するプロジェクトへの参画機会を獲得し、海外子会社との連携を強化することで、欧州地域におけるイノベーションの早期創出を目指しています。

また、米州のR&Dセンターなど、グローバルに存在する研究開発拠点の強化、体制整備も順次進めています。シスメックスは、世界中の人々のQOL（生活の質）向上に貢献する価値の高い検査技術の創出に向け、研究開発を進めていきます。

■グローバル研究開発体制



持続可能な社会へ──③

製品・サービスを通じた医療課題解決 ── 新興国・開発途上国編 ──

関連するSDGs*

持続可能な社会を実現し、社会とともに発展し続ける企業であるための、シスメックスのサステナビリティ（持続可能性）への取り組みについて紹介する当シリーズ。今回は、シスメックスが優先的に取り組むべきと考えている課題のうち、「製品・サービスを通じた医療課題解決」（新興国・開発途上国編）について解説します。

社会背景

医療インフラの整備が進む一方で、医療アクセスの改善が課題に

新興国や開発途上国では、経済成長や人口増加を背景に、医療保険制度の整備や新たな医療施設の設立など医療インフラの整備が積極的に進められています。こうしたなか、都市部を中心に、先進国並みの医療サービスを受けられる地域もある一方で、全ての人が経済成長による恩恵を平等に受けているわけではありません。依然として、十分な医療を受けられない人々が多数存在しており、感染症の蔓延など、さまざまな医療課題に直面しています。

■低所得国における死因ランキング

1	呼吸器感染症
2	下痢性疾患
3	虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症など）
4	HIV・エイズ
5	脳卒中
6	マラリア
7	結核

出典：WHOファクトシート（2016）

シスメックスの取り組み

医療水準の向上や三大感染症の解決に貢献

シスメックスは、グローバルに事業を展開する企業が果たすべき責務の一つとして、一人でも多くの方が適切な医療を受けられるよう、医療アクセスの改善に向けた取り組みを進めています。これまで検体検査*分野で培ってきた独自の技術やグローバルネットワークを活かし、現地の検査室の品質向上をサポートしたり、医療従事者への教育活動を実施するなど、医療水準の向上を目指した活動を推進しています。また、マラリア検査を自動化する製品の導入を進めるなど、三大感染症（HIV・AIDS、結核、マラリア）の解決にも取り組んでいます。

現在のマラリア検査（顕微鏡検査、簡易検査キットなど）

- 検査時間は約15～30分
- 顕微鏡検査には熟練の技能が必要

▼

シスメックスの技術を用いた検査

- 前処理作業などを伴わず、マラリア原虫等感染赤血球の有無を約1分で自動判定

マラリア検査をより迅速・簡便に

血球計数装置

*SDGs：2015年9月の国連持続可能な開発サミットで採択された、2030年までの「持続可能な開発目標」。

*検体検査：血液や尿、細胞などを体の中から取り出して調べる検査。

事例1　HIV感染者の治療方針決定を補助するシステムを提供

世界の推定HIV感染者数は、アフリカを中心として約3,800万人に上ります※。これらのHIV感染者への治療方針の確定や治療効果のモニタリングにおいては、体の免疫機能の中心的な役割を担う「血中CD4陽性リンパ球」の数や比率を調べる検査が重要な役割を果たしています。

シスメックスは、HIV感染者の治療方針決定や免疫状態のモニタリングの補助を目的とした、血中CD4陽性リンパ球検査システムを、新興国や開発途上国のお客様に提供しています。2018年8月に本システムがWHO*による事前認証を取得したのを機に、より多くの国や地域への導入を推進し、HIVの診断や治療の質向上への貢献を目指します。

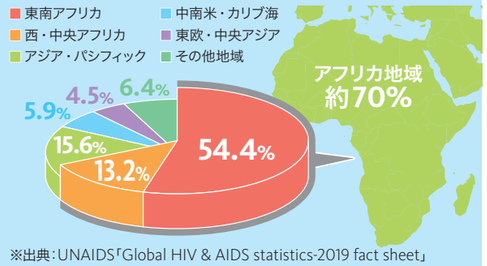
WHOの事前認証を取得

シスメックスの血中CD4陽性リンパ球検査システムの特徴

- 血液中のCD4陽性リンパ球の数と比率を3分で測定
- どこにでも設置しやすい小型・ポータブル式
- メンテナンスを簡略化

簡便かつ迅速、安定的な検査を支援

推定HIV感染者数※ 約3,800万人



※出典：UNAIDS「Global HIV & AIDS statistics-2019 fact sheet」

WHO事前認証とは…　医療機器や医薬品などを資源の限られた国々で安心して使用できるようにするため、WHOが品質や性能を確認していることを示す認証制度。

事例2　JICA事業を通じ、ガーナにおける尿検査の自動化を支援

アフリカ諸国では、がんや糖尿病、腎臓病など、感染性以外の病気の患者さんも増加しています。このような病気に対しては、予防や早期発見・早期治療が重要とされている一方で、健康かどうかを見分ける方法の一つとして有用な尿検査が十分に普及していないことや、手作業による検査結果の不均一性などが課題となっています。

そのような背景からシスメックスは、ガーナ共和国を対象とする「尿検査自動化技術普及促進事業」をJICA公募事業「開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業」に提案し、採択されました。この事業を通して当社の製品をガーナ国立教育病院 Komfo Anokye Teaching Hospital（クマシ市）へ導入したほか、現地の医療従事者の方を対象として尿検査の自動化に関する研修を実施し、ガーナにおける医療水準の向上に貢献しています。

施設に導入した製品

キックオフセレモニーの様子

シスメックスは、これまで培ってきた独自の技術を活かして、今後も医療の発展と人々の健やかな暮らしへの貢献を目指した取り組みを進めていきます。

Next　次回は、「責任ある製品・サービスの提供」に関する取り組みをご紹介します。お楽しみに！

*WHO：世界保健機構。World Health Organizationの略称。

株主様会社見学会のご案内

当社では、株主の皆様に当社へのご理解をより一層深めていただけるよう、会社見学会を開催しています。今年度は、2019年4月より稼働したバイオ診断薬拠点「テクノパーク イーストサイト」をご見学いただきます。ぜひご応募ください。

見学場所：バイオ診断薬拠点「テクノパーク イーストサイト」（所在地：兵庫県神戸市）

開催日時：2020年3月13日（金）　午前の部：9:45（集合）／12:20頃（解散）
午後の部：13:45（集合）／16:20頃（解散）

対 象 者：2019年9月30日現在、当社株式100株以上をご所有の株主様

集合・解散場所：神戸市営地下鉄 西神中央駅 近辺（予定）　**参加費**：無料

応募要領

■募集人数…80名（各40名）
■応募方法…同封の参加申込書に必要事項をご記入の上、ご送付ください。
■応募締切日…2019年12月27日（金）当日消印有効

※ご見学に1時間ほどお歩きいただきますので、ご了承ください。　※応募人数が多数の場合は、抽選とさせていただきます。抽選結果は、2020年2月中旬に応募者全員に郵送にてお知らせいたします。

【お問合せ先】　シスメックス株式会社　IR・広報部 会社見学会係　Tel 078-265-0515　受付時間：10:00～17:00（土・日・祝祭日、その他会社の休業日を除く）

Topics トピックス

「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス」に4年連続選定

経済・環境・社会の3つの側面から企業を分析し、持続可能性に優れた企業を選定する「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス」の構成銘柄に、4年連続で選定されました。今年度は全世界で318社、うち日本企業は33社が選定されましたが、ヘルスケア機器・サービスセクターにおいて、日本企業では唯一当社のみが選定されています。今後も持続的な成長を続けていくために、積極的なCSR活動を推進していきます。

MEMBER OF Dow Jones Sustainability Indices In collaboration with SAM

シスメックスのCSR活動については、右記の報告書をご覧ください。

〈左〉「シスメックスレポート2019」
www.sysmex.co.jp/ir/library/annual-reports/
〈右〉「シスメックス サステナビリティデータブック2019」
www.sysmex.co.jp/csr/report/

会社概要

（2019年9月30日現在）

■**商号**　シスメックス株式会社
SYSMEX CORPORATION
■**設立年月日**　1968年2月20日
■**資本金**　127億3,230万円
■**格付け**　AA-　（R&I：格付投資情報センター）
■**従業員数**　9,035名（連結）2,602名（単独）
＊嘱託・パートタイマーなどを含む
■**主な事業内容**　臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入

株主メモ

■**事業年度**　毎年4月1日から翌年3月31日まで
■**定時株主総会**　6月
■**基準日**
定時株主総会　3月31日
期末配当金　3月31日
中間配当金　9月30日
その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

■**公告方法**
当会社の公告方法は、電子公告とします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
電子公告掲載ホームページアドレス　www.sysmex.co.jp/ir/

■**上場証券取引所**　東京証券取引所市場第一部
■**証券コード**　6869
■**単元株式数**　100株
■**株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関**
〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

■**同連絡先**（郵便物送付先・電話照会先）
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話　0120-094-777（通話料無料）

お知らせ
1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。　2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。　3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

シスメックス株式会社
神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 〒651-0073　Tel 078-265-0500　Fax 078-265-0524　www.sysmex.co.jp

再生紙、植物油インキを使用しています。